

臨床研究の実施に関する情報公開

当院では、静岡県立総合病院臨床研究倫理委員会にて審査を受けたうえで、院長の許可を得て下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	排尿ケアチーム介入患者における排尿自立の実態と関連因子の検討
対象者	2025年3月より2026年3月までの期間に当院に入院し、排尿ケアチームが介入した18歳以上の患者さん。
研究期間	研究機関の長の実施許可日 ～ 2029年3月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	2026年4月10日
当該研究の目的	<p>入院中の治療において、尿道カテーテルを使用した管理は現在でも広く行われています。一方で、尿道カテーテルが長期間使用された場合には、尿路感染症や排尿機能障害だけでなく、身体機能低下や生活の質にも関連することが指摘されています。このような背景から、2016年の診療報酬改定では排尿自立指導料が新設され、さらに2020年には排尿自立支援加算等が拡充されるなど、入院患者さんに対する早期の尿道カテーテル抜去と排尿自立に向けた支援の重要性等が強調されています。</p> <p>当院では2018年に多職種による排尿ケアチームを設立し、入院診療科とも連携しながら入院患者さんを対象に、尿道カテーテルの早期抜去を含む包括的な排尿支援を行っています。このような排尿ケアチームの取り組みは多くの病院で行われていますが、排尿ケアチームが介入した後の患者さんの排尿自立の達成状況や、その関連因子について検討した報告は限られています。当院においても、高齢入院患者さんでは歩行機能が排尿自立と関連する可能性を示唆する結果を得ているものの、排尿ケアチーム介入患者全体を対象とした包括的な検討は引き続き必要であると考えています。</p> <p>そこで本研究では、当院の排尿ケアチームが介入した入院患者さんを対象に、チーム介入終了時点における排尿自立の達成状況を明らかにするとともに、排尿自立に関連する患者さんの背景や様々な要因を探索的に検討することを目的としています。</p>
利用する試料・情報の項目	<p><情報>以下の情報を診療録より収集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・背景因子 (年齢、性別、入院病名、入院方法、入院期間、診療科、既往歴、病棟、認知症高齢者の日常生活自立度、入院時ADL、寝たきり度) ・排尿ケアチームの介入日数 ・尿道カテーテル留置日数

	<ul style="list-style-type: none">・尿道カテーテル抜去から排尿ケアチーム介入開始までの期間・排尿ケアチーム介入開始時および介入終了時の ADL・尿意の自覚・尿失禁・1回尿量・1回残尿量・排尿に関する薬物療法の有無・排尿自立の達成状況、退院時転帰、退院先 など
研究責任者	静岡県立総合病院 泌尿器科 飯島 平佑
問い合わせ先	<p>他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、本研究の計画や関連資料を閲覧することが可能です。この研究に関するお問い合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。</p> <p>静岡県立総合病院 看護部 6C病棟 池田 由香里 電話番号：054-247-6111（代表）</p>